



2023年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年9月13日

上場会社名 のむら産業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7131 URL <https://www.nomurasangyo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清川 悦男
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 西澤 賢治 TEL 042 (497) 6191
 四半期報告書提出予定日 2023年9月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年10月期第3四半期の連結業績（2022年11月1日～2023年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年10月期第3四半期	4,450	15.0	359	47.9	358	49.2	227	55.7
2022年10月期第3四半期	3,870	9.8	243	39.4	240	37.3	146	36.7

(注) 包括利益 2023年10月期第3四半期 247百万円 (64.0%) 2022年10月期第3四半期 150百万円 (39.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年10月期第3四半期	172.11	—
2022年10月期第3四半期	105.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年10月期第3四半期	3,574	1,587	44.2
2022年10月期	3,633	1,392	38.3

(参考) 自己資本 2023年10月期第3四半期 1,580百万円 2022年10月期 1,392百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年10月期	—	—	—	42.00	42.00
2023年10月期	—	—	—	—	—
2023年10月期(予想)	—	—	—	47.00	47.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2023年10月期の連結業績予想（2022年11月1日～2023年10月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,963	9.2	409	8.9	407	9.9	259	7.9	196.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名） 、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年10月期3Q	1,391,575株	2022年10月期	1,391,575株
② 期末自己株式数	2023年10月期3Q	69,246株	2022年10月期	69,246株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年10月期3Q	1,322,329株	2022年10月期3Q	1,383,213株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2022年11月1日～2023年7月31日）における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の位置づけが感染症法上の5類へ移行、入国者の水際対策の解除など、社会経済活動の正常化が進み、緩やかに回復基調となりました。

一方、金融政策等による為替変動やエネルギーコスト及び原材料価格の高騰などの経済的リスクは高く、依然として先行きは不透明な状況で推移しております。

当社グループの主要取引先であるコメ流通業界におきましても、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へと移行されたことにより、外食関連の需要も回復傾向がみられております。また、物流業界におきましても、企業活動の持ち直しやネット通販市場の引続きの拡大傾向が見られるなど物流需要は堅調に推移しております。

このような環境の下、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は44億50百万円（前年同期比15.0%増）、営業利益は3億59百万円（前年同期比47.9%増）、経常利益は3億58百万円（前年同期比49.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億27百万円（前年同期比55.7%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次の通りであります。

(包装関連事業)

包装関連事業の主要取引先であるコメ流通業界は、少子高齢化による人口減や食の多様化により国内のコメ消費量が毎年減少傾向にあります。当第3四半期は新型コロナウイルス感染症が5類感染症へと移行されたことなどの影響から、人流の回復に伴い外食関連等の業務用向け販売は堅調に推移しました。また、資源価格の高止まりなどの影響を最小限に抑えるため、様々なコストダウンに注力いたしました。その結果、売上高は37億55百万円（前年同期比14.7%増）となり、セグメント利益は3億32百万円（前年同期比53.3%増）となりました。

(物流梱包事業)

物流梱包事業につきましては、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へと移行されたことなどの影響から、イベント関係等で物流梱包関連商品の需要が回復基調にあったことや、SDGsなど脱プラスチックの風潮に沿った環境配慮型商材の拡販などにより、売上と利益は堅調に推移しました。また、当初の想定よりも為替が円高傾向で推移したことや、原材料価格の高止まりなどの影響を最小限に抑えるため、コスト全般の見直しに注力いたしました。その結果、売上高は6億94百万円（前年同期比16.3%増）となり、セグメント利益は26百万円（前年同期比2.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ65百万円減少し、26億17百万円（前連結会計年度末比2.4%減）となりました。これは主に、売上債権が回収によって減少したこと等によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ6百万円増加し、9億57百万円（前連結会計年度末比0.7%増）となりました。これは主に、のれんが償却により減少した一方で、保有株式の時価が上昇したことにより投資有価証券が増加し、さらには子会社による設備投資により有形固定資産のその他が増加したこと等によるものであります。この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ58百万円減少し、35億74百万円（前連結会計年度末比1.6%減）となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ1億62百万円減少し、18億44百万円（前連結会計年度末比8.1%減）となりました。これは主に、仕入債務が支払いにより減少したこと、及び、賞与引当金が設定対象期間の相違から減少したこと等によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ91百万円減少し、1億42百万円（前連結会計年度末比39.1%減）となりました。これは主に、長期借入金返済により減少したこと等によるものであります。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ2億54百万円減少し、19億86百万円（前連結会計年度末比11.3%減）となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億95百万円増加し、15億87百万円（前連結会計年度末比14.0%増）となりました。これは主に、株主配当により利益剰余金が減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益が獲得できたこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2022年12月14日付「2022年10月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました業績予想を変更しております。詳細につきましては、本日公表の「2023年10月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,043,372	986,310
受取手形、売掛金及び契約資産	872,602	706,727
電子記録債権	106,483	191,482
商品及び製品	151,556	168,777
仕掛品	367,235	384,571
原材料及び貯蔵品	119,566	130,828
その他	22,101	49,131
貸倒引当金	△284	△257
流動資産合計	2,682,633	2,617,572
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	432,309	434,061
減価償却累計額	△188,135	△194,868
建物及び構築物（純額）	244,174	239,193
機械装置及び運搬具	14,127	15,102
減価償却累計額	△11,546	△12,081
機械装置及び運搬具（純額）	2,581	3,021
土地	400,435	400,435
リース資産	62,933	66,677
減価償却累計額	△26,314	△34,428
リース資産（純額）	36,618	32,248
その他	20,142	36,553
減価償却累計額	△15,855	△17,500
その他（純額）	4,287	19,053
有形固定資産合計	688,096	693,951
無形固定資産		
のれん	82,033	56,575
その他	9,828	8,446
無形固定資産合計	91,862	65,021
投資その他の資産		
投資有価証券	141,544	165,396
繰延税金資産	7,555	6,952
その他	22,122	26,001
貸倒引当金	△264	△209
投資その他の資産合計	170,958	198,140
固定資産合計	950,917	957,114
資産合計	3,633,551	3,574,686

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	488,639	463,159
電子記録債務	1,093,943	1,022,760
1年内返済予定の長期借入金	128,412	128,412
リース債務	14,551	14,449
未払法人税等	102,307	79,841
賞与引当金	58,523	28,113
製品保証引当金	2,425	2,855
その他	118,280	104,765
流動負債合計	2,007,082	1,844,357
固定負債		
長期借入金	159,990	63,681
リース債務	32,938	25,892
繰延税金負債	4,916	12,647
退職給付に係る負債	13,472	17,498
資産除去債務	22,689	22,799
固定負債合計	234,007	142,519
負債合計	2,241,090	1,986,876
純資産の部		
株主資本		
資本金	80,000	80,000
利益剰余金	1,340,910	1,512,959
自己株式	△67,722	△67,722
株主資本合計	1,353,188	1,525,237
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39,272	54,995
その他の包括利益累計額合計	39,272	54,995
非支配株主持分	—	7,577
純資産合計	1,392,460	1,587,810
負債純資産合計	3,633,551	3,574,686

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2021年11月1日 至 2022年7月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2022年11月1日 至 2023年7月31日）
売上高	3,870,440	4,450,242
売上原価	2,876,689	3,277,377
売上総利益	993,750	1,172,865
販売費及び一般管理費	750,627	813,193
営業利益	243,123	359,672
営業外収益		
受取配当金	199	240
為替差益	—	499
保険戻戻金	12	472
その他	1,545	808
営業外収益合計	1,756	2,020
営業外費用		
支払利息	1,463	1,027
損害賠償金	—	1,692
その他	3,224	567
営業外費用合計	4,688	3,287
経常利益	240,192	358,405
税金等調整前四半期純利益	240,192	358,405
法人税等	94,054	126,741
四半期純利益	146,137	231,663
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	4,077
親会社株主に帰属する四半期純利益	146,137	227,586

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2021年11月1日 至 2022年7月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2022年11月1日 至 2023年7月31日）
四半期純利益	146,137	231,663
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,685	15,723
その他の包括利益合計	4,685	15,723
四半期包括利益	150,823	247,387
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	150,823	243,310
非支配株主に係る四半期包括利益	—	4,077

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

当社及び連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2021年11月1日 至 2022年7月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	包装関連事業	物流梱包事業	計		
売上高					
包装資材関係	2,206,592	—	2,206,592	—	2,206,592
包装機械関係	1,066,867	—	1,066,867	—	1,066,867
梱包資材関係	—	498,846	498,846	—	498,846
梱包機械関係	—	98,134	98,134	—	98,134
その他	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる 収益	3,273,459	596,981	3,870,440	—	3,870,440
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,273,459	596,981	3,870,440	—	3,870,440
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	△543	△543	543	—
計	3,273,459	596,437	3,869,896	543	3,870,440
セグメント利益	217,205	25,918	243,123	—	243,123

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2022年11月1日 至 2023年7月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	包装関連事業	物流梱包事業	計		
売上高					
包装資材関係	2,415,821	—	2,415,821	—	2,415,821
包装機械関係	1,340,014	—	1,340,014	—	1,340,014
梱包資材関係	—	611,133	611,133	—	611,133
梱包機械関係	—	83,273	83,273	—	83,273
その他	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる 収益	3,755,836	694,406	4,450,242	—	4,450,242
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,755,836	694,406	4,450,242	—	4,450,242
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	294	294	△294	—
計	3,755,836	694,700	4,450,536	△294	4,450,242
セグメント利益	332,997	26,674	359,672	—	359,672

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第2四半期連結会計期間に設立したBJT JAPAN合同会社は、物流梱包事業に含めております。